

イツモスマイル

ITSUMOSMILE

vol.32
2019



デイサービスセンター 恵 南小松島 敬老会

とくしま住まいメッセ出展



とくしま住まいメッセ 2019(徳島新聞社主催)が9月28日(土)29日(日)の2日間、アスティとくしまで開催されました。

スマイルメモリーが遺品整理・生前整理など、スマイルサポートがハウスクリーニング・エアコンクリーニングなどの提案をさせていただきました。

開催期間中、ご自身の生前整理の事や親世代のことを考えてのご相談など幅広い世代の方々がブースに立ち寄られました。

徳島大学・企業訪問バスツアー 来社 ～未来の戦力誘致・育成プロジェクト～



徳島大学の学生を対象とした企業訪問バスツアーの皆さんがイツモスマイルの佐古本部に来社されました。

8月に徳島大学で行われた第1弾のマッチングイベントでは、地元企業8社が、自社の独自技術や経営の面白さをプレゼンテーションし、今回の第2弾ではそれぞれの学生が興味ある企業を訪ねて経営者と就職や起業について意見を交わしました。イツモスマイルでは医療・介護に興味ある10名程の方が施設内を視察されました。

イツモスマイル で働こう

正職員 正准看護師 パート 日勤 夜勤

無資格の方にも資格取得をバックアップする制度があります

勤務地/徳島市・藍住町
小松島市・阿南市



<http://itsumosmile.jp>

神野大地さん応援しました!



イツモスマイルクリニックと連携している再生医療関連事業社のセルソース株式会社(本社・東京)に所属する神野大地選手が来年の東京オリンピック・マラソン競技の代表選考レースであるマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)に出場されましたので、神野選手に応援ビデオレターを送りました! 2015年箱根駅伝で「山の神」と呼ばれた健脚で頑張っていると、今後も応援していきます。



増田 摩美(ますだまみ) 1985年生まれ。徳島市出身。5年前からフィルムカメラを始め県内外で街と人を写している。主婦であり一児(小3男児)の母。

ライター編集後記
今回は敬老会に遊びに行かせてもらいました。デ
イサービスセンター恵で
は筋肉ムキムキの職員が
マリリンモンロー?に扮
して全力で歌い踊る姿に
利用者様もお腹を抱えて
笑っていました。これか
ら健康で笑顔溢れる毎
日をイツモスマイルで過
ごしてほしいと思います。

ITSUMOSMILE
イツモスマイルグループ

いつまでも
お元気で

vol.6
Have Fun イツモ



イツモスマイルの敬老会!



デイサービスセンター恵
職員が仮装して利用者様と「Y・M・C・A」を踊りました!

祝敬老会



デイサービスセンター恵
西須賀
卒寿・傘寿の皆様
おめでとうございます!



グループホーム恵
職員からのお祝いの手紙をそれぞれ手に持ち記念撮影♪



デイサービスセンター恵 藍住
新しく入職した職員からプレゼントをもらって良い笑顔です。

防災の日・地震体験

9月1日は防災の日です。
イツモ西須賀デイサービスセンター―恵西須賀では徳島県防災センターから地震体験車「防災すだちくん」と職員の方々に来ていただき地震体験をしました!



テーブルと椅子が固定された状況でも揺れると移動が困難です。



実際の地震は突然やってきます。その場所や状況に合わせてあわてずに身を守る行動を!

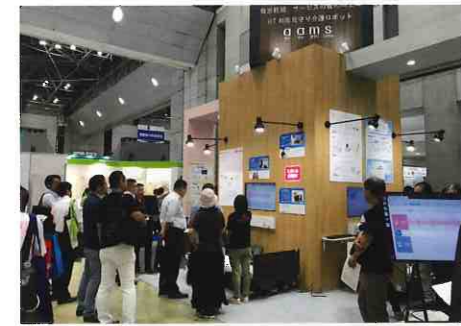
福祉用具販売貸与イツモスマイル

国際福祉機器展2019 (HCR) に参加しました

日本初の福祉機器の国際展示会である国際福祉機器展(HCR)が令和元年9月25、26、27日の3日間、東京ビッグサイトで開催されました。HCR2019では14か国1地域より500社超の企業・団体が数多くの製品を展示しました。ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した介護ロボットまで、福祉機器の今・未来を、見て、触れることが出来る3日間です。



3日間で10万人が訪れた国際福祉機器展(HCR)の会場



株式会社バイオシルバー「a.a.m.s」のブース

新入職員紹介コーナー



デイサービスセンター恵 阿南
島野 なみ

出産を機に、一時、子育てに専念していましたが、イツモスマイルで働いていた時の職場の雰囲気が好きで、介護職にやりがいを感じていたのもありイツモスマイル復帰を決めました。利用者様一人一人とコミュニケーションをとり、気持ちに寄り添い一緒に楽しい時間を過ごしていきたいです。



サービス付き高齢者向け住宅 イツモ阿南
青木 美里

今まで障害者施設での仕事をしてきましたが、介護技術のスキルアップを図りたいと思ってイツモスマイルのホームページを見て明るく暖かい職場だと感じ入職しました。入居者様一人一人に合った介護のやり方を見つけて回数を重ねて介護技術の向上を目指したいです。